



この地球上で、この場所で  
こうして出会えた奇跡に感謝  
こうしてかわり合うことが  
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校  
令和2年度学校だよりNo.5  
令和2年9月1日  
文責 校長 吉尾直樹

## 「思い」を大切にしたい2学期にしましょう

9月1日 第2学期始業式

第2学期の始業式にあたって、校長から次の話をしました。「1か月の夏休みも終わり、2学期が始まります。この夏はコロナウイルスの対応に追われることとなり、8月9日の登校日や楽し

みにしていた夏祭りは中止。高校のオープンスクールも一部はリモートになるなど、なかなか旅行にも行くことができず、普段とは違う夏休みを過ごしたことと思います。

その中でも、平日は全校生徒で朝のランニングを行い、午前中は部活動や学習会に取り組み、生活リズムが崩れないようにしてきました。やはり、起床時間を変えない、朝ご飯をしっかり食べる、運動と学習のバランスをとることなどは、健康的な生活を過ごす上で重要です。9月になっても残暑が厳しいので生活リズムを守り、第2週の修学旅行や職場体験学習、ボランティア体験学習に向けて体調を整えましょう。Withコロナの中で始まる2学期ですが、感染に気をつけながら、さまざまな活動に取り組んでいきたいと思っています。

さて、この夏休みは、午前中で学校でのさまざまな活動を終え、昼からは自分で考えて行動する時間でした。有意義に活用できましたか。同じことを行うにしても、自分から主体的に取り組むか、周りがするから自分もするでは全く結果が違います。だから、自分で先を見通し、決めたことに取り組む力を高めるために、この夏休みは大切な機会なのです。

まずは、この夏休みを振り返り、午後から夜の時間をどのように使ったか、自分はこの夏に何に取り組んだかを考えてみましょう。成功も失敗も振り返ることでみなさんの力になります。

そしてその反省を生かし、2学期の初めにあたり、自分の目標をしっかりと立ててください。

私は大島中学校の2学期の一文字を「思」としました。

イギリスの劇作家シェイクスピアは「我々の運命は星が決めるのではない。我々自身の思いが決めるのだ。」と言いました。人生は我々の思い=決意があって決められるのであって、偶然や運命に決められるのではないと。

不安な思いが強い今の時期、コロナに感染した人や組織への誹謗中傷は、その思いを誰かにぶつけないという衝動から生まれています。しかし、こんな時こそ、互いに支え合う家族、仲間、そして多くの人の思いに触れることで人々は救われるのです。そして自分の将来に向け、こうしようという「思い」を揺らぎのないものにして、前に進むことができるのです。

これからの2学期も先が見通せないことが多く、状況の変化によってはその対応が必要となります。その中でも学校の内外で生徒たちの笑顔が輝くことができるよう、家庭、地域と協力しながら取り組んでいきたいと思っています。」



## 大島の自然のすばらしさを味わう

8月20日 第3学年野外活動（大賀キャンプ場）他

空気のように当たり前存在する大島の豊かな自然。そうした大島の魅力を味わい確かめることができる活動のひとつが、第3学年野外活動です。これは公民館主催の青少年健全育成のための学社融合事業の一環として行われたもので、3年生が大賀キャンプ場でカレーをつくったり、海岸で磯遊びをしたりして、大島の豊かな自然を満喫しました。また、8月4日には白浜でのカヌー教室もあり、多くの生徒が参加しました。さらに8月25日の本

校で行われた「星を見る会（天体観測会）」では、直前の雨でどうなることかと思いましたがすっきりと晴れ、木星のガリレオ衛星や土星の輪、月などを見ることができました。こうしたさまざまな活動を通して、ふるさと大島のすばらしさを体験し、ふるさとへの思いが高まっていくものと思います。

9月

- 1日 始業式 平和学習
- 2日～3日 3年生実力テスト、1・2年生課題テスト
- 8日～10日 3年修学旅行（島原半島）、2年職場体験学習、1年ボランティア体験学習
- 17日 駅伝前健康診断
- 29日 駅伝試走日（弁当）※30日も弁当が必要です。
- 10月7日 平戸市駅伝大会
- 18日 学習発表会（午前：小学校、午後：中学校）